

業務用

タイル用弾性接着剤

ネオピタ#マンテン

JAIA F☆☆☆☆

官民共同研究品質基準適合品

JIS A 5557 基準適合品

JAIA 4VOC 基準適合品

- 特徴**
- 厚み5mm以内の下地調整や塗り継ぎができます。
 - 健康を損なう可能性がある揮発性有機化合物 (VOC) としての14物質を配合していない「健康住宅適応品」です。
 - 臭いが少なく、内外装使用可能です。
 - オールシーズン型で冬場でも粘度の上昇が少なく、作業が楽にできます。
 - 耐候性に優れているので、目地なしで使用でき、施工が簡素化出来ます。
 - 硬化物は、高い弾力性を保ち、衝撃や振動に強く、被着材同士の膨張、収縮の応力を吸収し、耐久性に優れています。
 - フィルムパックに入った一液タイプであるため、作業が楽で廃棄物も少ないです。
 - 塗りやすく、チクソ性が強いのでタイルがずれにくく、作業性抜群です。



カラー



※掲載カラーバリエーションは印刷のため実際の色とは異なります。

用途

- 適用仕上材
- ・セラミックタイル・ブリックタイル・セメント擬石
(ブリックタイル・セメント擬石は製造時に使用されている脱型剤・撥水材等知見がありませんので事前にテストを行ってください)
 - ・ガラスモザイク (外部の直射日光が当たる箇所は不可)
 - ・石材 (石材の種類により染み出す恐れがありますので、事前にテストを行ってください)
- 適用下地
- ・モルタル・コンクリート・押出成型セメント板・無塗装サイディング・合板
 - ・各種乾式ボード・タイル
- 〈不適用下地〉塗装面・ポリマーセメント系塗膜防水面・吸水調整材塗布面・アスファルト等

- 適用箇所
- 屋内及び屋外の壁面
- 〈不適用箇所〉常時80℃以上の高温の箇所・浴槽内等の常時水に浸漬している箇所
・大衆浴場などの常に湿気がある箇所・直火の影響を受ける箇所・空気中の酸性濃度が高い箇所
・床面(硬化後も柔らかいため落下物の衝撃によりタイルが割れる恐れがあります)

※適応下地、適応仕上材、適応箇所について不明な点やこちらに記載のない場合はお問い合わせください。

性状

- 主成分
- 変成シリコーン エポキシ樹脂
- 使用・保管温度
- 5～35℃
- 張り付け可能時間
- 30～60分
- 有効期限
- 1年
- 標準使用量
- 平滑下地面 (5mmクシ目ゴテ使用の場合)
2～2.5kg/m² 0.75～1m²/本

タイル用弾性接着剤

ネオピタ#マンテン

業務用



荷姿

2kgパック×9本
ケース

使用上の注意

- 本製品は空気中の“湿気”で硬化するため、非吸水材料同士の接着には使用できません。
- タイルや下地を水浸ししないでください。
- 下地に吸水調整材を使用しないでください。
- 作業環境温度が5℃以下または35℃以上の場合や多湿(結露)時・降雨・降雪時の施工は避けてください。
- 低温時にネオピタ#マンテンの施工性を上げるために湯煎等で加温する場合は、湯温は60℃までとし温めた接着剤はその日のうちにご使用ください。また、直火等で温めるのは絶対に避けてください。
- 直射日光が当たる場合は可使時間・張り付け可能時間が短くなる場合があります。
- 使用した道具類は硬化前にシンナー、アルコール等を染み込ませた布で清掃してください。
- ジョイントテープ、防水テープ、防水紙は必ずブチルゴム系を使用して施工してください。
- アスファルト系のジョイントテープは溶解の危険がありますので絶対に使用しないでください。
- 接着剤を厚塗りした場合、硬化速度が遅くなりますので十分注意してください。
- シーリング材は、変成シリコーン系を使用してください。
- 砂、水、セメント、他社品等の異物の混練は絶対に避けてください。
- 開封後は速やかに使い切ってください。密封状態で保存しても硬化が進行します。
- 接着剤の塗布量が標準使用量より少ない場合、十分な接着力、弾力性、耐久性が得られず剥離事故等の原因となります。
- 施工後、紫外線等により色あせする場合があります。
- 本製品は建築用に開発・製造されたものです。記載の用途以外には使用しないでください。
- 接着剤が残った場合は、内容物を固化させてから地域の条例に基づき処分してください。
- 使用後のフィルムパックの廃棄は、専門処理業者に委託し処理してください。

安全上の注意

- 作業中の換気は十分に行ってください。
- 火気の近くでは使用しないでください。
- 取扱い時は保護手袋、保護眼鏡を着用してください。
- 万一眼に入った場合や蒸気を吸って気分が悪くなった場合は、できるだけ速やかに医師の診察を受けてください。
- 皮膚についた場合は速やかに大量の石鹸水で洗い、かゆみや炎症が発症した場合は速やかに医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、吐き出し、直ちに水で口の中を洗浄し、医師の診察を受けてください。吐き出せない場合は、無理に吐き出させないようにし、直ちに水で口の中を洗浄し、医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗いを十分に行なってください。
- 詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。

保管上の注意

- 直射日光、雨露の当たらない屋内の冷暗所(5~35℃)で貯蔵・保管してください。
- 子供の手の届かない所で保管してください。

製品名	ケース荷姿	カラー	品番	標準価格
ネオピタ#マンテン	2kgパック×9本/ケース	グレー	T-10	¥30,600
		ホワイト	T-20	
		ブラック	T-30	

【お願い】

・本カタログの記載内容は、技術室の資料を基に作成し、信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、すべての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

・記載商品の一部内容が、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更される場合があります。

□代理店

□製造・総販売元 タイル用接着剤・セメント混和剤、特殊目地材製造、開発



株式会社 大建化学

DAIKEN CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.

〒442-0835 愛知県豊川市新桜町通3丁目30番地5
TEL 0533-86-5625 FAX 0533-89-1751



NEOPITA#MANTEN

タイル用弾性接着剤

ネオピタ#マンテン 業務用

空目地仕上げ



目地詰仕上げ



【施工方法】

下地処理

- 下地精度が仕上がりに大きく影響しますので平滑(2mにつき±2mm以下)に仕上げてください。コンクリートやモルタル下地は十分に乾燥させてください(含水率8%以下)。また、エフロ・レイタンス・油分・ほこり・ゴミ・型枠離型剤等は除去してください。
- 下地調整が必要な場合は、ネオピタ#マンテンで行うか、セメント系下地調整塗材で行ってください。ネオピタ#マンテンで下地調整する場合は、一回の塗圧は5mm以下とし、施工後は夏季1日程度、冬季3日程度養生し、表面の硬化を確認してください。
- 指圧して凹みが残る場合は さらに養生期間を設けてください。また、重ね塗りは2回合計10mmまでとしてください。養生期間中は表面に、汚れやほこりなどが付着しないようにしてください。
- 付着してしまった場合は、表面を清掃するか、紙やすり等で研磨して汚れやほこりを除去してください。
- セメント系下地調整塗材で施工する場合は各メーカーの仕様に従って施工してください。
- セメント系下地調整塗材で施工した場合、ネオピタ#マンテンの下地となる部分に吸水調整材がはみ出ないようにしてください。剥離の原因となります。
- 外装施工において、コンクリートブロック下地等で裏から水がまわる可能性のある場合は、EPプライマー(株大建化学製品)処理をしてください。

接着剤の塗布

- フィルムパック端部をカッターナイフ等で切り込みを入れ開封してください。
- 接着剤をコテ等で必要量絞り出してください。
- 下地にこすりつけるように塗布した後、クシ目ゴテ(3~7mm)を用い壁面に対して60°程度の角度を保ってクシ目を付けてください。クシ目の方向はタイルの裏足と直交または斜め方向に塗り付けてください。
- 空目地仕様で平押しする場合は60°程度の角度を保ってクシ目を付けた後に平滑にしてください。
※空目地仕様の場合はネオピタ#マンテンの塗布厚みが目地部から露出したネオピタ#マンテンの耐久性に影響を及ぼしますので、安定した塗り厚を確保してください。

タイル張り付け

- 接着剤塗り付け後、直ちに仕上材を張り付け、よくもみ込んで接着剤と仕上材がなじむようにたたき板またはヴィブラートを使用して目地部にネオピタ#マンテンの盛り上がり確認できる程度までしっかりと圧着して張り付けてください。
※約2㎡ごとにタイルを一枚剥がし、タイル裏面に接着剤が60%以上付着している事を確認してください。(60%未満の場合は張り直してください)
- 可使時間内に目地直しを終わらせてください。
※仕上材表面にネオピタ#マンテンが付着した場合は、硬化する前にシンナーやアルコール・塗料うすめ液を染み込ませた布で拭き取ってください。硬化してしまった場合はカッターナイフやメラミンスポンジ・砂消しゴム等で削り落としを試みてください。

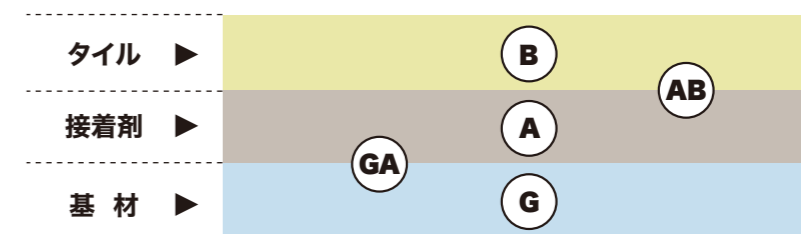
目地詰め

- 目地詰めをする場合は、接着剤の硬化を確認して施工してください。
※通常は1日以上養生で目地詰め出来ますが、冬場(低温時)は硬化が遅くなりますので、養生を長めに取ってください。

接着強さ試験

(JIS A 5557準拠)

〈破壊状態表示方法〉
B : タイル材料破壊
AB : 接着剤層~タイル界面
A : 接着剤層凝集
GA : 基材~接着剤層界面
G : 基材(下地)破壊



	試験結果(代表値)		判定基準	
	接着強さ(N/mm ²)	破壊の位置		
標準養生	0.70	A 100	0.60 以上	凝集破壊率75%以上
低音硬化養生	0.66	A 100	0.40 以上	凝集破壊率50%以上
アルカリ温水処理	0.53	A 90 GA 10	0.40 以上	凝集破壊率50%以上
熱劣化処理	0.83	A 100	0.40 以上	凝集破壊率50%以上
凍結融解処理	0.68	A 100	0.40 以上	凝集破壊率50%以上

被膜物性

	試験結果(代表値)		判定基準	
	接着強さ(N/mm ²)	破断時の伸び(%)	引張強さ(N/mm ²)	破断時の伸び(%)
標準養生	0.78	100	0.60 以上	35%以上
アルカリ温水処理	0.80	70	0.40 以上	25%以上
熱劣化処理	0.92	80	0.40 以上	25%以上

【試験条件】

●試験用材料

1. 下地材 JIS A 5557に規定されるモルタル
2. 接着剤 ネオピタ#マンテン
3. タイル モザイクタイル
4. こて JIS A 5557に規定される標準くし目こて

●試料の作成

1. 接着剤の塗布 JIS A 5557の6.3.3 b) 1)による
2. タイルの張り付け JIS A 5557の6.3.3 b) 2)による
3. 試料の養生
 - (1)標準養生: 温度23、湿度50±20%雰囲気中672時間
 - (2)低温硬化養生: 温度5±2℃雰囲気中672時間
 - (3)アルカリ温水浸漬処理: 標準養生後、60℃±2℃の飽和Ca(OH)₂水中168時間浸漬処理
 - (4)熱劣化処理: 標準養生後、80±2℃中336時間静置処理
 - (5)凍結融解処理: 標準養生後、-20℃空中2時間⇄20℃水中1時間を200サイクル処理

●検査方法

JIS A 5557の6.3.3 e)による

一般性状

	性状(代表値)	
外観	ペースト状	
主成分	変成シリコーン・エポキシ樹脂	
粘度(Pa·S)	(20℃) 520	(30℃) 460
チクソ係数	7.02	
硬化性(分)(タックフリータイム) 23℃	210	
比重	1.55	